



学校長
印鑑省略

## 2021年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画 / 最終実績自己評価

学校評価項目	【学校創立の原点】 設立趣意書より抜粋 エプソン情報科学専門学校が全人的教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。	教育理念とは 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度	【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材を育成し続ける
	①学校の教育理念・目標 設置趣意書より抜粋 また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。	教育方針とは 1. 通いあう心、信じあう心、ひたむきな心の育成 1. 共鳴、共感、共働（協働）の感性の育成 1. 自学、究学、徹学の態度の育成	【中期基本方針（2021～2023）】 1. セイコーエプソンと密接に連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 学生募集を安定させ、持続的な学園経営の自立を目指す。

分担	学校評価・項目	No.	推進項目	到達目標（期待される成果）	実績および最終自己評価	
共通	④学修成果	1	退学者の削減	目標：昨年実績以下 チャレンジ目標：退学者ゼロ	昨年度2名に対して、現時点で6名。（理由：学力不足3名、病気1名、家庭事情1名、進路変更1名）	×
	⑧財務	2	経費削減・ムダの排除	予算目標の達成	人件費および経費ともに予算オーバーで目標未達成の見込み。	×
	①学校の教育理念・目標	3	学校の理念・基本的方針の確立	基本的方針の策定と公表	学校ホームページへ最新情報を定期更新。更に長野県は昨年10月から、より一層の周知のため県内認定学科一覧表を4	○
	②学校運営	4	学校評価の向上	前年度評価点以上を目指す	中間評価と比較し+0.1P向上。（学校運営+0.1P、学習成果+0.4P、学生の受入募集+0.1P、財務+0.1P）	○
	②学校運営⑥教育環境⑨法令等の遵守	5	適法対応、安全衛生管理、学習環境含めた環境活動の強化	昨年からの改善をはかる。問題を発生させない。	新型コロナウイルス感染症拡大に対して、入学式、授業等の運営日程の即決断。感染防止にむけワクチンの職域接種実施。リスク対応として感染防止検討・準備、募集活動のオンライン対応と後期も激動の半期を乗り切った。	◎
教務部	③教育活動	1	「5年後10年後に会社になくてはならない人材」を目指した育成	追試験件数前年度(1.2件/人)以下、A評定率前年度(47%)以上	追試験件数：昨年減少(昨年1.2件/人⇒今年0.91件/人)、A評定率：昨年増加(昨年47%⇒今年51%)という結果であった。放課後に質問に来る学生も多く都度、フォローを実施した。ミニテストの回数増などにより学習習慣を身に付ける指導を継続実施した。	◎
			グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる 情報システム科にロジカルシンキングの授業を継続実施し物事を論理的に伝える力を身に付けさせる	グループワークを取り入れた授業数は昨年度7科目から11科目(S5,E2,B4)に大幅に増やした。システム開発での要件定義、Web基礎でのHP制作、ビジネス科でのチームビルディング講座の実施など、グループでの検討に加え協力して成果物を製作し発表する場を設定することで、さまざまな考えに触れそれらを取りまとめる経験をする機会を数多く作った。 ロジカルシンキングの授業では実際の記事を例に物事を論理的にとらえ伝える訓練を実施した。その結果、半数近くの学生に業者模試の作文読解点数の向上がみられた。	○	
教務部	③教育活動	2	教える力の向上(どうやって身に付けさせるか)	独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等について以上取り組む 非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善	指導力向上に向けて、セイコーエプソン主催研修へ参加予定。(上期はコロナ影響により自粛)。そのほか、資格試験合格(2件)、コロナ禍の影響でセミナー参加は自粛。	-
			常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える 授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる	講師二人体制授業の実施により学生へのフォローの充実と自身の授業運営の参考にすることができた。上期全学生対象アンケート実施済。アンケートの結果を踏まえ下期は施策展開を行う。	○	
(学務)	⑤学生支援	1	学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる	4月末にHR対抗のイベントとしてスポーツ祭を行い、新入生同士が早い時期に学科を超えて仲間意識を醸成できた。コロナウィルスワクチン接種の副反応を考慮し、開催時期および内容の工夫により、多くの学生が安全に三心祭を楽しむことができた。	◎
			校則の重大違反なし 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を減らす(1回平均1人以下)	授業中に不適切なインターネットアクセスが1件、無許可の車通学および友人の同乗違反が1件発生した。各イベントにおける無断欠席は平均して1件未満。	△	
	④学修成果	2	学生の資格取得件数の向上	2年間で一人当たりの資格取得件数4件以上を達成する	2022/2/4時点(1年生:6.18件/人、2年生:8.68件 Ave:7.39件/人)2020年度を上回る取得状況達成。	◎
			10P以上の特別表彰を15名以上出す 特進クラスは全員が卒業までに10P以上取得させる	30P以上1名、20P以上3名、10P以上12名 特進クラスは全員が10P以上獲得 (28P・14P)	-	
就職指導部	④学修成果⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	就職内定率95%以上を確保する	1/25現在、内定率100%。地域や職種に拘りが強い学生が12月から1月まで難航していたが、希望通りの内定先を得て、昨年に続き希望者全員内定となった。	○
			卒業生へのヒアリング、およびカリキュラム・人材像について企業側の要望の聴取を行う(就職活動のためのアドバイス、実態業務と現カリキュラムの比較)	卒業生ヒアリングについてはコロナ禍であり難航。一方、新たな就職先企業の開拓を実施。(上田市:長野オートメーション、茅野市:ファナックパトリオクス)	1年生のエプソン3事業所見学が実現し、意識高揚、多数応募につながる見込み。(昨年5名応募⇒15名超の見込み)	○
入試セン	⑦学生の受け入れ状況	1	募集者数の拡大	募集者数の向上	・第一期入試(39名合格)・第二期入試(7名合格)・第三期入試(3名合格)・第四期入試(9名合格)延べ58名合格。昨年同水準。	○
			イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上	新型コロナウイルス感染症の影響で、高校への説明会や会場ガイダンスへの参加者が昨年より25%減。8月、9月、1月の長野県コロナ蔓延防止に伴い、リアルオープンキャンパスの開催できず計画時のような入試へ繋がらず。	△	
事務局	⑧財務①学校の教育理念・目標	1	経費削減	昨年度以上	人件費および経費ともに予算オーバーで目標未達成の見込み。	×
		2	学校の特色の周知	周知強化に向けた新たな取り組みを実施する	学校の知名度向上にむけ、諏訪市(国道20号沿い)への看板設置検討。2022/1～諏訪市四賀に設置。高校訪問の強化(長野県内、山梨甲府まで)学校の特色リーフ作成し持参、説明を実施。(新たな取組)	○